

競 技 注 意 事 項

1 競技事項について

- ・ 本大会は、2018年度日本陸上競技連盟規則により行うが、小学生であることを考慮し教育的配慮のもとに競技を進行するので、本協会普及委員会が定める規定(別冊『小学生の陸上競技規定』に記載)が優先する。

2 練習について

- ・ 最初のトラック競技開始時刻の30分前、または、大会総務が指定した時刻までなら、競技場内での練習を認める。

3 招集について

- ・ 第1招集場は、正面入り口付近に設ける。
- ・ 第2次招集場は、現地とする。
- ・ 招集時刻は、プログラム記載通りとする。
- ・ 棄権する場合は、本人または責任ある指導者が、第1次招集完了時刻までに第1招集所にて、棄権する選手の名前に取り消し線を引くこと。
届け出が無い場合は出場する意志があるものとして扱う。

4 ナンバーカードについて

- ・ 5・6年生は、当日受付で配布された、3・4年生はすでに配布されているナンバーカードを競技中、胸と背にはっきり見えるようにつける。折ったり折り曲げたりしない。
- ・ ナンバーカードの4隅のそれぞれ2ヶ所に安全ピンをとおし、競技中に外れないようにする。



5 競技について

- ・ トラックの走路順、フィールドの競技順は、プログラムの記載順序による。
- ・ トラック競技決勝のレーンは、予選結果発表後掲示する。
- ・ フィールド競技で、指導者が選手に指導助言を行う場合、指導エリア内で行うこと。

5-1 トラック競技について

- ・ 不正スタートは、各自が2回行った場合失格とする。
- ・ 素足での競技参加は禁止する。
- ・ 80mHは下記の高さ、インターバルで行う。

スタートから 第1ハードルまで	ハードルの高さ	インターバル	台数	最終ハードルから フィニッシュまで
13m	70cm	7m	9台	11m

5-2 ・ リレー競技について

- ・ リレーに出場するチームは、招集完了時刻の1時間前までに「リレーオーダー用紙」に必要事項を記載し、第1招集所に提出する。
- ・ テイクオーバーゾーンは30mとする。
- ・ リレーにおいて、異学年混合、男女混合チームの参加を認める。
- ・ 次のようなチームは、全国大会に参加できない。
 - ① 男女混合チーム
 - ② 4年生が入っているチーム
 - ③ 申込時に4名で編成されたチーム

5-3 ・ フィールド競技について

走り高跳びのバーは下表のように設定し、各高さ3回の試技を行う。

性	練習	1	2	3	4	5	6	7	その後
男	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m38	1m40	1m42	2 cmずつ上げていく
女	1m10	1m15	1m20	1m25	1m28	1m30	1m32	1m34	

- ・ 学年共通の走り幅跳びは、3回試技を行い、上位8位を選ぶ。その上位8位までの者がさらに3回の試技を行い、計6回の記録の中から順位を決める。
- ・ 4年生の走り幅跳びは、3回試技を行い順位を決める。
- ・ ジャベリックボール投げは、やり投げピットで3回試技ができ、助走は15m以内とする。
- ・ ジャベリックボール投げは、次の行為を禁止する。
 - ① 羽を持つての投てき
 - ② 回転投げ(自身が回転し遠心力をつけて投げる動作)

6 表彰について

- ・ 6位までを対象とする。
5・6年生、学年共通の競技では1位から3位までにメダルが授与されます。
- ・ 他は、賞状のみです。
賞状等を渡す。

7 その他

- ・ メインスタンドでの立っての応援やテント設営は禁止します。
- ・ 全国大会参加選手への説明会を15時30分から行います。権利を有する選手とその保護者(指導者でも可)は必ず参加してください。・・・会場は放送で案内し、掲示します。